

【仮置場レイアウト検討用資料 廃棄物種類別の必要面積条件】

本訓練における仮置きが見込まれる廃棄物種類別の廃棄物量及び仮置場必要面積は下記の通りです。

この情報を基に、廃棄物種類別のレイアウト、搬入車両の動線を検討してください。

分別区分	仮置きが見込まれる廃棄物量 (t)	必要面積 (m ²)	目安となる メッシュの数
①燃えるごみ	340	504	20
②燃えないごみ	280	414	16
③ガラス・陶器	280	414	16
④大型ごみ	560	828	33
⑤小型家電	400	216	8
⑥リサイクル家電	110	360	14
⑦処理困難物	40	108	4
合計	2,010	2,844	111

<留意点>

- ✓ 上記の必要面積には、作業スペース等を含んでいると想定。
- ✓ 積上げ高さを 3m と想定。
⇒ただし、⑥と⑦は平置きと想定。(高さを 0.5m と設定)
- ✓ 出入口は 1 箇所。
- ✓ 余裕があれば資機材の配置についても考慮する。

